

2 中学部の経営

(1) 学部目標 「仲間と協力して、進んで活動に取り組むことができる生徒」

- ・目指す姿 ・自ら考え、行動する姿
- ・友達と一緒に活動に取り組む姿

・学部経営方針

【いきいき】進んで活動したり、目標に向かって取り組んだりする意欲や態度を育てる。

【なかよく】人と関わって、適切な方法で思いを伝えたり受け入れたりする力を育てる。

きまりを守って校内外で活動する力、判断する力を育てる。

【すこやか】健康の維持・増進と体力の向上を図る。

(2) 本年度の取組

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標
安全・安心	ア他者との安定した関わりを築き、自分や相手の良さがわかる教育活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチの時間を設定し、テーマにあった内容を自分の言葉で考え、伝える。（輪番制で毎日） ・生徒一人一人が決められた役割を、責任をもって果たせるような生徒会活動の充実。（年間計画作成） 	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつを含めた他者への関わりや、自ら思いを伝えられる生徒が増えた、と答える教職員 100% ・自らの人権感覚や道徳心を高め、生徒の見本となる指導ができた、と答える教職員 100%
	イ働きやすい職場環境づくりと組織的な対応ができる教員集団づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・授業準備や分掌業務などの重なりからくる多忙化解消のために、学部会等で調整。（学部会） ・日頃から職員間のコミュニケーションを密にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常業務や分掌業務を行う上で効果的・効率的な遂行を意識した業務改善に取り組めたと答える教職員 100% ・職場における良好な人間関係づくりを意識して、報・連・相や連携・協力を努めることができた、と答える教職員 100%
授業	ア学習指導要領を踏まえ、生徒の思考・判断・表現を引き出すための授業力の向上。	<ul style="list-style-type: none"> ・職員研修を意識した授業づくりができるよう、単元カードや授業カードの検討。（単元ごと） 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の思考・判断・表現を引き出すための授業実践ができた、と答える教職員 100%
	イ個別の指導計画における適切な目標設定と効果的な指導実践。	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の指導計画の進捗状況や課題点の共有。（毎学期） ・生徒理解のために赤ファイルの読み込み。（年度はじめ） 	<ul style="list-style-type: none"> ・実態に応じた適切な個別の指導計画の作成ができ、効果的に目標達成ができた、と答える教職員 100% ・分教室の生徒の特性を理解して支援につなげることができた、と答える教職員 100%

	<p>ウ 9年間の成長と自立を見通した各部における教育課程の見直しと改善。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3年サイクルを意識した指導実践。年間指導計画や行事計画、学部の押さえ等。（毎学期） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学年段階や個人の実態に応じて自立に向けた指導実践を行い成果が出たと答える教職員 100%
	<p>エ 体力の向上と生涯スポーツにつながる教育活動の充実</p> <p>オ 生涯教育や情操教育につながる表現活動の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運動量を確保した体育活動実施。 ・ 運動が自己の体に及ぼす影響について学ぶ機会の設定。 ・ 出来上がりをイメージして制作に取り組めるよう、ワークシートを作成したり、市販キットを活用したりする。 ・ 図書委員会の活動の充実。（学期に数回） ・ 読書記録作成。 ・ 朝の活動で読書の日を設定したり、授業内で読み聞かせ活動を実施したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の体力の維持向上と日常的に運動に取り組む姿勢が実感できると答える教職員 100% ・ 表現力や想像力を高めるために読書や芸術活動（音楽・美術）に取り組める環境を整え、教育活動を推進できたと答える教職員 100% ・ 「好きな本が増えた」と答える児童生徒 100%
連携	<p>ア 地域社会とつながるための教育課程の実現を目指した、地域資源を活用した授業の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の会社と連携した職業学習の充実。（水谷砂利、滝中工業） ・ 自分たちで計画した作品展を実施し、学習の成果を発信する。（年間で2回） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の資源や環境を活用した教育活動を通して、つながりを深められたと答える教職員 100% ・ 地域の方々に向けた作品展や日頃の学習活動を実施して「生徒の理解啓発につながった」と答える教職員 100%
	<p>イ 自己実現を図るための自己理解とキャリア教育の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来を見据えた学習の積み重ねの見える化のためのキャリアパスポートの充実を図る。（年間で3回） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の実態や年齢に応じたキャリア教育の実践ができたと答える教職員 100% ・ 生徒の自己理解を深め、自己選択や自己決定を促す指導の充実が図れたと答える教職員 100%
	<p>ウ 社会自立に向けた地域・家庭(学園)・福祉との連携強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学園との連携を密にし、生徒の情報の共有。（日常的に） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要に応じて地域の関係機関や保護者と連携して課題解決に取り組めたと答える教職員 100%